



CHAPTER 21

イベントのモニタリング

Cisco Prime Collaboration Manager での障害の処理方法を理解するには、[障害管理についての項](#)を確認する必要があります。

1 つ以上のイベントによって、異常状態またはアラームが生成されることがあります。アラームはクリアできますが、イベントは残ります。

[Events Browser] ページにアクセスするには、[Monitoring] > [Events] を選択します。ページの左側にある [Device Group] ペインを使用して、グループに基づきイベントをフィルタリングすることができます。詳細については、「[デバイス グループの管理](#)」を参照してください。

表 21-1 に、[Event Browser] に表示される詳細をリストします。最新情報を取得するには、[Refresh] アイコンをクリックします。

表 21-1 Event Browser

フィールド	説明
ID	イベントの固有の ID 番号。
Source	影響を受けるデバイス タイプ (名前や MAC アドレスを含む)。
Time	イベントが生成された日付と時刻。
Severity	イベントの重大度は、重大、やや重大、比較的重大ではない、警告、情報のいずれかです。イベントリストを重大度別 (昇順または降順) にソートするには、タイトルをクリックします。
Category	セッションやエンドポイントなど、アラームが割り当てられたカテゴリを表示します。
Description	イベントの説明

[Event Browser] の上部には、イベントの合計数や [Refresh] アイコンのほか、[Event Browser] の列をカスタマイズするための [Settings] アイコンが表示されます。

Prime CM には、一連のフィルタが事前に定義されています。これらのフィルタには、[Show] ドロップダウン リストからアクセスできます。独自のフィルタを作成することもできます。フィルタの作成方法の手順については、「[拡張フィルタ](#)」(P.B-4) を参照してください。

イベントの詳細の表示

[Events Browser] ([Monitoring] > [Events]) ページでは、目的のイベントに対して [Events] の左端にある矢印をクリックすると、そのイベントの詳細を表示することができます。次に説明するように、イベントに関する詳細を表示します。

- General Information
 - [Failure Source] : 影響を受けるデバイス タイプ (名前や MAC アドレスを含む) を表示します。
 - [Category] : エンドポイント、セッションなど、イベントが発生した場所を表示します。
 - [Severity] : イベントの重大度が表示されます。イベントの重大度は、重大、やや重大、比較的重大ではない、情報、警告、クリアのいずれかです。
 - [Created] : イベントが生成された日時を表示します。
- [Message] : イベントが発生した理由を説明したメッセージ。